

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称: 山口ゆだ・かべり)
活動開始年度	平成28年度
活動拠点	山口市児童文化センター、湯田中学校
活動範囲	湯田中学校区、山口市内全域 等
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (市子ども家庭課地域子育て支援拠点事業・市社会教育課子どもの居場所づくり事業)
組織体制	11 人 地域子育て支援員、保育者、家庭教育アドバイザー、地域協育ネットコーディネーター、地域子育て支援スタッフ、元教員、一時預かり保育サポーター、保育心理士、利用者支援専門員、地域子育て支援コーディネーター
具体的な活動内容	<p>切れ目のない子育て支援や地域ぐるみで支え合う子育て環境を構築するため、コミュニティ・スクールとして「学校を核とした人づくり・地域づくり」をめざしている湯田中学校と連携・協働しながら、地域の人々と一緒に「湯田中学校ひろば」を開催している。</p> <p>○ 中学生とのふれあい交流</p> <p>毎週水曜日の10時～14時に「湯田中学校ひろば」を開設し、昼休みに乳幼児やその保護者と中学生がふれあい・交流活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親子が、自由に立ち寄れる居心地のいい居場所を提供し、子どもたちの遊びを支え、子育てが楽しくなるよう配慮している。 ・子育て中の親子が、中学生や高齢者など地域の多様な世代の人々とふれあえるような世代間交流を図るとともに、子育てに関わる誰もが生き生きと社会に参画できる環境を整備している。 ・次世代の親となる中学生の学びの場として、また、将来教育に携わる大学生の経験の場として機能するようコーディネートしている。 ・ひとり親家庭や不登校傾向にある子ども、障がいのある子どもの家庭及び個人が地域の中で孤立しないよう支援している。

	<p>○ 保護者・乳幼児等を対象にした教養講座</p> <p>毎週開催される「湯田中学校ひろば」のうち、月1回程度、保護者や乳幼児等を対象にした教養講座を実施。講師は湯田中学校の教職員や山口市教育支援ネットワーク「やまぐち路傍塾*」に依頼している。</p> <p>「やまぐち路傍塾*」:地域の教育力を高めるボランティア人材バンク (実施内容の一例)</p> <p>ハロウィンパーティー(英語科教員、ALT)</p> <p>人形劇(やまぐち路傍塾)</p> <p>筆ペン講座(校長)</p> <p>タッピングタッチ講座(スクールカウンセラー)</p> <p>食育講話&給食試食会(栄養教諭)</p>
<p>活動を通して感じていること (成果、課題など)</p>	<p>○ 「湯田中学校ひろば」が、地域で子育てを支え合う場や生涯学習の場として機能することにより、子育て中の親同士、子育てOB等とのコミュニケーション(人間関係づくり)を深めたり、悩みや困り感を相談したりすることで、育児ストレスを軽減し、孤立感を防ぐことにつながってきている。親には子育て仲間を、子どもには遊び仲間を作ることができ、子育て家庭の孤立や密室での虐待等の予防としても効果的だと感じる。</p> <p>○ 「湯田中学校ひろば」の設置により、中学校が子育てをとおして多世代が自然にかかわり合える楽しい居場所となり、そこに参加する大人も子どもも生き生きと活動し、自己有用感や自己肯定感の向上につながっている。</p> <p>○ 中学校との連携により、中学生と乳幼児等とのふれあい交流の機会を日常的かつ継続的に確保でき、中学生にとって、コミュニケーション能力の向上や自己肯定感・自己有用感の醸成につながっている。また、保護者や乳幼児にとっては、普段なかなか接することが少ない中学生とふれあう絶好の機会となっており、毎回楽しみにしている参加者が多く見られる。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>子育て支援交流広場『ちゃ☆ちゃ☆ちゃ』 (TEL) 083-922-4325 (E-mail) cha-cha-cha@hotmail.co.jp</p>